

IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター2009年9月号 (http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/22-newsletter/nl_2009.html)

「産業応用部門の編修広報」

電気学会産業応用部門編修広報委員会委員長
竹下 隆晴 (名古屋工業大学)



6月から1年間、平成21年度の部門編修広報委員会委員長を担当させていただきます。編修広報委員会は、会員の皆様へ正確な部門情報をニュースレターとホームページで迅速にお伝えする活動をしています。お伝えする情報として論文特集号、調査専門委員会の委員公募、部門大会や産業応用フォーラムの開催案内、技術開発レポート、国際会議の案内と報告、部門活動などです。

編修広報委員会が担当している部門のニュースレターとホームページの状況と、電気学会編修会議で議論が始まった論文投稿料値下げ検討について報告します。

・ニュースレター

ニュースレターは、部門誌とともに皆様の手元に毎月お届けしています。タイムリーな情報をお伝えするために、最終原稿提出時期を発行の1.5ヶ月前まで短縮できています。もともと部門誌内に部門記事が掲載されていたときには、発行3ヶ月前の原稿締め切りでしたが、平成16年10月に部門誌から部門記事を独立させ、ニュースレターとして発行して以来、速報性を重視するとともに、最終原稿とりまとめ担当者に過度の負担がかからないシステム作りをし、1.5ヶ月前まで短縮できています。これ以上の短縮は現状では難しく、より速報性が必要なものは、部門ホームページで対応していきたいと存じます。

・産業応用部門ホームページ

今後、会員へのサービスとしてホームページはますます重要な役割を担っていきます。一昨年、電気学会のホームページがリニューアルされ、各部門独自の情報発信が可能になり、更新も部門独自でできるようになりました。正確な情報を会員の皆様に速報性を持ってお伝えするための、部門ホームページの更新手続きと更新記事の確認システム

を本委員会にて昨年度作成しましたので、今年はその運用を確立したいと存じます。ホームページでは国際会議情報など会員の皆様から情報をお送りいただき運用していますので、今後ともご協力をお願いします。また、ホームページの英語版については、早急な充実が必要であり、対応を考えていきたいと存じます。

D部門ホームページ URL <http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/>

・電気学会の編修会議の検討事項

電気学会の重要な活動の一つとして部門誌の発行があります。部門誌は会員の皆様の貴重な研究成果を論文として投稿していただき、論文委員会にて査読をして掲載決定したもののみを掲載しています。この貴重な成果である論文の部門誌への掲載料の値下げ、さらには無料化をD部門では検討しています。その対応として、電気学会の編修会議にて、論文誌の冊子体を廃止して原則電子ジャーナルのみとすることで、掲載料を現状の6~7割への値下げを検討しています。冊子体を一部残すことも含め、どのような方式がよいかを、会員の皆様のご意見を伺い、電気学会全体で検討を進めていきます。

また、学会全体のホームページについても電気学会として速報性を重視した運用をするために、広報委員会における検討が始まっています。

・会員の皆様へのお願い

D部門では、堀部門長をはじめとする部門役員会にて部門活動の活性化を進めており、その基で昨年度の玉井前委員長が進めてきた本編修広報委員会の活発な活動を、今年も引き継いでいきます。部門会員諸氏の活動に貢献する新鮮で有益な情報を提供していきますので、会員の皆様からも貴重なご意見、ご支援をよろしくお願い申し上げます。